

ISO 規格発行の概要

ISO 12297-2:2018, Rolling bearings—Cylindrical rollers—Part 2: Boundary dimensions, geometrical product specifications (GPS) and tolerance values for ceramic rollers

(転がり軸受—円筒ころ—第2部：セラミック製ころ—主要寸法，製品の幾何特性仕様(GPS)及び公差値)

2018年3月付にて，ISO 12297-2:2018 (Rolling bearings—Cylindrical rollers—Part 2: Boundary dimensions, geometrical product specifications (GPS) and tolerance values for ceramic rollers)の第1版が制定・発行されましたので，その概要を紹介します。

1. 経緯

鋼製円筒ころに関するISO規格は，ISO12297:2012 (Rolling bearings—Steel cylindrical rollers—Dimensions and tolerances)として制定されていますが，セラミック製円筒ころの規格については制定されていませんでした。2014年5月に，ISO/TC 4 (転がり軸受専門委員会)でセラミック製円筒ころに関するISO規格制定の新業務項目提案が承認されたことを受けて規格制定作業が開始され，2018年3月の制定発行に至りました。

2. 規定内容の概要

- ・ 図と記号については，GPSを適用した表記にしました。
図はクラウニング付き形状とし，外径形状の対称性の規定VD_wsrが追加されましたが，これについては“顧客と生産者との協議による”とし，具体的な規格値は規定していません。
- ・ 主要寸法は，直径40mmまでの範囲で制定しています。
- ・ 等級は，鋼製ころとは精度や表面粗さが異なることから，新たな等級区分や記号を採用しています。
- ・ セラミック製円筒ころの表面欠陥の種類及び検査方法の例を附属書(参考)として記載しました。

以上